

平成 28 年 度

東京藝術大学
大学院音楽研究科(修士課程)
学生募集要項

この要項には、本学所定の出願様式及び出願用封筒が添付してある。

平成 27 年 7 月

東京藝術大学
〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8
電話 050 (5525) 2309

28

受験上の注意事項

- (1) 試験実施日時は、出願者数の多寡により多少変更することがある。その場合、平成27年9月14日(月)午後4時以降(作曲専攻については平成28年2月1日(月)午後4時以降)、試験に関する注意事項と同時に新日程を音楽学部内に掲示及び本学ホームページで発表するので、受験者本人が必ず確認すること。(「XVI入学者選抜試験実施日程表」を参照のこと。)
- (2) 試験に関する諸事項は、掲示及び本学ホームページにより発表するので、常に掲示等に注意すること。なお、掲示等で記載された番号は、本学受験票の受験番号である。
- (3) 実技試験における「試験の順番」は、係員の指示によること。
- (4) 試験当日は、定められた集合時刻を厳守すること。なお、実技試験において、定められた集合時刻に遅れた者には受験を許可しない。(万一やむを得ない事情により遅れた場合は、ただちに係員に申し出ること。)
- (5) 試験当日、受験者(伴奏者を含む)は、試験に関する掲示により発表された「集合場所及び控室」に入り、以後はすべて係員の指示に従うこと。
- (6) 不正行為があった時は、当該試験を失格とし、以後の受験を認めない。
- (7) 「集合場所及び控室」での発声または楽器の練習を禁じる。また、「集合場所及び控室」から試験場へ行く途中の廊下等においても同様に禁じる。
- (8) 音出し室、控室にあるピアノの使用を禁じる。ただし、ピアノ研究分野受験者は、係員の指示に従うこと。
- (9) 受験の際は、常に受験票を携帯し、入構の際は、守衛所の係員に提示して入構すること。万一受験票を忘れた場合には、係員に申し出ること。
- (10) 携帯電話及び通信機能を備えた電子機器等の使用を禁止する。持ち込んだ場合は、電源を切ってかばん等に入れておくこと。
- (11) 食事のために学外に出る場合には、正門出入りの際、守衛所の係員に受験票を提示すること。
- (12) 試験に関する電話による問い合わせには、原則として応じない。
- (13) 本学に駐車場はない。

目 次

○ 大学院音楽研究科アドミッション・ポリシー	1ページ
I 募集人員	1ページ
○ 平成28年度からの教育研究組織の変更について	2ページ
II 選 抜 方 法	3ページ
III 出 願 資 格	3ページ
IV 標 準 修 業 年 限	3ページ
V 出 願 手 続	3ページ
VI 選 抜 試 験 場	10ページ
VII 試 験 科 目	10ページ
VIII 試験科目の詳細	11ページ
IX 選 抜 期 日	33ページ
X 最終合格者の発表	33ページ
XI 入学手続き等について	33ページ
XII 入学料・授業料の免除・徴収猶予について	34ページ
XIII 奨学金、特待生について	34ページ
XIV 研究室及び指導教員	35ページ
XV 個人情報の取り扱いについて	37ページ
XVI 入学者選抜試験実施日程表	折込

入学願書等提出書類	添付
検定料振込依頼書	添付
入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙	添付
入学手続書類送付用宛名ラベルシール	添付
受験曲目提出用紙	添付
研究計画書	添付
志望理由書	添付

○ 大学院音楽研究科アドミッション・ポリシー

大学院音楽研究科は、高度に専門的かつ広範な視野に立ち、音楽についての深遠な学識と技術を授けること、音楽に関わる各分野における創造、表現、研究又は音楽に関する職業等に必要な優れた能力を養うこと、さらには自立して創作、研究活動を行うに必要な高い能力を備えた教育研究者の養成を目的としている。

この教育理念に基づき、本研究科は、音楽に関しての豊富な知見、高度の技術と卓越した研究能力を持ち、なおかつ、幅広い視野や興味・関心、柔軟な感性、独創的な構想力、論理的な思考力、強い意志を持っている人材を求めている。

I 募集人員

専攻	研究分野	募集人員
作曲	作曲	7名
	エクリチュール	
声楽	声楽	12名
器楽	ピアノ	45名
	オルガン	
	弦楽	
	管打楽	
	室内楽	
指揮	指揮	3名
	三味線音楽*	9名
箏曲		
尺八		
能楽		
能楽囃子		
邦楽囃子		
音楽文化学	日本舞踊	29名
	音楽学	
	音楽教育	
	ソルフェージュ	
音楽文化学	音楽文芸	29名
	音楽音響創造	
	音楽音響創造	
合計		105名

〔注意〕

- (1) 志願者は、志願する専攻中の1つの研究分野に限り出願することができる。
(作曲は、作曲・エクリチュールのいずれかを選択する。声楽は、声種1つを選択する。室内楽は、個人・グループのいずれかを選択する。)
- (2)(*) 三味線音楽研究分野には、次の専門種がある。
長唄三味線、常磐津三味線、清元三味線、長唄、常磐津、清元
- (3) 外国人留学生に関しては、次の専攻において、別枠で募集し、募集要項は平成27年11月に発行する。
作曲、声楽、器楽、指揮、邦楽及び音楽文化学（音楽学・音楽教育・音楽文芸・音楽音響創造）。（平成27年7月現在）

● 「オペラ研究分野」「応用音楽学研究分野」「芸術環境創造研究分野」の募集停止について

平成28年度より、従来の「大学院音楽研究科（修士課程）声楽専攻オペラ研究分野」は「大学院音楽研究科（修士課程）オペラ専攻」に、「大学院音楽研究科（修士課程）音楽文化学専攻応用音楽学研究分野」及び「大学院音楽研究科（修士課程）音楽文化学専攻芸術環境創造研究分野」は「大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻（修士課程）」に改組するため、平成28年度入学試験において当該研究分野としての募集は行わない。

新設する「大学院音楽研究科（修士課程）オペラ専攻」に係る入学試験の内容については、本学ホームページで公表している。また、当該専攻の入学試験に係る学生募集要項は、平成27年7月中旬配布予定である。

新設する「大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻（修士課程）」の入学試験に係る学生募集要項は、平成27年9月上旬配布予定である。

※この計画は、文部科学省大学設置・学校法人審議会によって確定するものであり、変更があり得る。

※詳細は本学生募集要項2ページを参照すること。

○ 平成28年度からの教育研究組織の変更について

東京藝術大学では、平成28年度からグローバル人材育成機能の強化を図る観点から、下記のとおり、教育研究組織整備を計画しています。これらの計画については、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査をもって確定するものですが、平成28年度（平成27年度実施）の入学選抜は、設置後の入学定員（募集人員）等により実施します。

なお、新設する「大学院音楽研究科オペラ専攻（修士課程）」及び「大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻（修士課程）」に係る入学試験の出願にあたっては、今後公表する当該入学試験の学生募集要項等をご確認（オペラ専攻の募集要項は7月中旬、アートプロデュース専攻の募集要項は9月上旬に配布予定）願います。

※ ここに記載している設置計画は、文部科学省大学設置・学校法人審議会によって確定するものであり、変更があり得ます。

1 設置計画及び入学定員の変更

【設置前（平成27年度）】

○大学院音楽研究科（修士課程）	
声楽専攻	20人
音楽文化学専攻	35人

【設置後（平成28年度）】

○大学院音楽研究科（修士課程）	
声楽専攻	12人（8人減）
音楽文化学専攻	29人（6人減）
オペラ専攻	8人（新設）
○大学院国際芸術創造研究科（修士課程）	
アートプロデュース専攻	10人（新設）



（募集停止について）

上記の変更に伴い、大学院音楽研究科音楽文化学専攻応用音楽学研究分野及び芸術環境創造研究分野は大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻に、大学院音楽研究科声楽専攻オペラ研究分野は同研究科オペラ専攻に改組するため当該研究分野の募集は行いません。

2 「大学院音楽研究科オペラ専攻（修士課程）」の設置計画

（1）設置目的

国内はもとより、海外の主要なオペラ劇場やコンサートホール等においても第一線で活躍できる卓越したオペラ人材・舞台芸術家として、オペラ芸術に関する高度な専門的知識や技能を有するとともに、オペラ芸術を総合芸術として捉え、他領域との関係性等、横断的な知見も備えた先進的なオペラ芸術を創造できる人材の育成を目的としています。

（2）授与する学位

修士（音楽）

3 「大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻（修士課程）」の設置計画

（1）設置目的

今日、芸術文化を取り巻く環境は、産業構造の変化やグローバル化、インターネットに代表される技術革新など社会の急激な変化に伴って大きく変容しつつあります。

今回構想する大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻は、この新しい変化に対応するために、専門領域によって分かれている芸術文化のさまざまな実践を横断的かつ有機的に結びつけながら、芸術と社会との新しい関係を提案する人材を育成することを目指しています。

具体的には、①国際美術展や各種地域アートプロジェクト、コンサートホールなどのマネジメントを担える人材。特に芸術文化に精通し、内容に関する企画を含むマネジメントができる人材、②芸術文化の形式の変化、芸術理論の枠組みのイノベーションに対応しつつ展覧会や芸術文化イベントのキュレーションを担当できる人材、③芸術と社会との関係を調査研究し、学術的な発信をグローバルに行なうとともに、アカデミズムだけではなく広く社会に対して芸術と文化の新しい関係の提言ができるリサーチ人材の育成を目指します。

（2）授与する学位

修士（学術）

II 選 抜 方 法

入学者の選抜は、「専門試験・語学・基礎学科目（音楽史）・面接・音楽に関する基礎能力検査の各成績及び出願時提出資料」に基づき総合して判定する。

III 出 願 資 格

本学大学院音楽研究科（修士課程）に出願できる者は、次の各項の1つに該当する者とする。

1. 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に規定する日本の大学を卒業した者（平成28年3月卒業見込の者を含む）
2. 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定（大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者（平成28年3月までに学士の学位を取得見込の者を含む）
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（平成28年3月までに修了見込の者を含む）
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（平成28年3月までに修了見込の者を含む）
5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（平成28年3月までに修了見込の者を含む）
6. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（平成28年3月までに修了見込の者を含む）
7. 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
8. 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

※上記出願資格8により出願を希望する者は、事前に出願資格審査を受ける必要があるので、至急音楽学部教務係に必要書類を請求し、平成27年7月29日(水)午後4時まで提出すること。

※出願資格に不明な点がある場合は事前に音楽学部教務係へ問い合わせること。

IV 標 準 修 業 年 限 2 年

V 出 願 手 続

1. 願書受付期間

志願する専攻の別により、下記の期間の郵便局の消印があるものを受け付ける。

- ・作曲専攻を除く全専攻：平成27年8月7日（金）から平成27年8月13日（木）まで
- ・作曲専攻のみ：平成28年1月4日（月）から平成28年1月8日（金）まで

(注) 入学願書を直接大学に持参したもの、または郵便局の消印が上記期間外のもの、いかなる理由があっても受け付けない。

なお、平成27年8月8日(土)から平成27年8月16日(日)まで本学の夏季休業のため、出願する際に不明な点がある場合は、必ず平成27年8月7日(金)までに音楽学部教務係へ問い合わせること。

2. 検 定 料

① 金額：36,000円

国費外国人留学生は納入不要である。ただし、「国費外国人留学生在籍証明書」を在籍する大学に発行を依頼して、必ず提出すること。

※入学検定料免除制度について

平成23年3月11日に発生した東日本大震災において被災した志願者は、入学検定料の免除を受けられる制度がある。免除を希望する志願者は、入学願書提出前に本学学生課入学試験係へ連絡の上、本学所定の「入学検定料免除申請書」と「罹災証明書等の写し」を提出すること。(郵送により提出する場合は、封筒に「入学検定料免除申請書在中」と朱書すること。)なお、この申請を行う場合は、出願時「入学検定料」を払い込まないこと。また、出願時、出願書類とともに「入学検定料免除申請書の写し」もしくは「検定料免除許可書の写し」を提出すること。申請時期などの詳細は本学ホームページ (<http://www.geidai.ac.jp/news/2014061619060.html>) で確認すること。

問い合わせ・書類送付先

東京藝術大学学生課入学試験係

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

TEL：050-5525-2075 FAX：03-5685-7763

② 振り込み期間：

作曲を除く全専攻：平成27年8月7日（金）～平成27年8月13日（木）

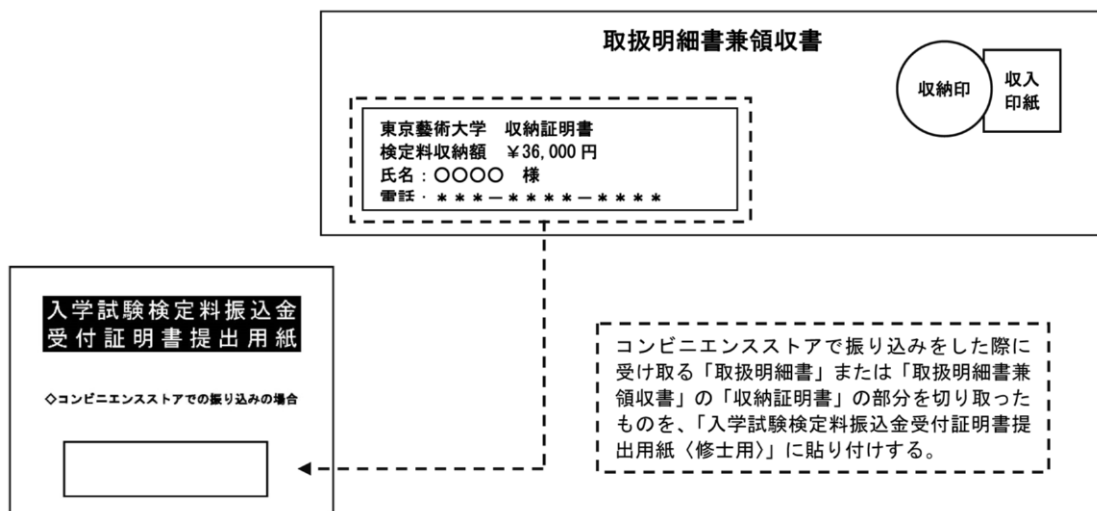
作曲専攻：平成28年1月4日（月）～平成28年1月8日（金）

③ 振り込み方法及び提出書類：

下記の(ア)、(イ)、(ウ)のいずれかの方法により振り込むこと。

(ア) コンビニエンスストアでの振り込み

- ・7ページの説明を参照の上、振り込み手続きを行うこと。
- ・振り込み時に、この要項に添付している「検定料振込依頼書（A・B・C票）」に記載されている「整理番号」（5桁）の入力が必要である。
- ・コンビニエンスストアで振り込んだ際に受け取る「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」の部分を取り切ったものを、「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙〈修士用〉」に貼り付けて提出すること。
- ・コンビニエンスストア内のATMによる振り込みは受け付けない。必ず指定の端末にて手続きを行うこと。



(イ) 金融機関窓口での振り込み

- ・この要項に添付している「振込依頼書（A・B・C票）」を使用すること。
- ・取扱金融機関は次の通りである。
都市銀行・信託銀行・地方銀行・信用金庫・信用組合・農業協同組合・ゆうちょ銀行（郵便局）等（金融公庫では振り込みできない。）
- ・ゆうちょ銀行（郵便局）での振り込みはゆうちょ銀行の口座からのみ可能である。
詳しくは振り込みを依頼する店舗に問い合わせること。
- ・振り込み時には別途手数料が必要である。（三井住友銀行本・支店から振り込む場合は手数料が無料になる。）
- ・金融機関ATM（現金自動預け払い機）による振り込みは受け付けない。
- ・振り込み後に返却されるB・C票のうち、C票を切り離し、「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙〈修士用〉」に貼り付けて提出すること。

<p>A票</p> <p>振込依頼書 〔東京芸術大学〕入学試験検定料</p> <p>振込機関(金融機関取扱開始) 平成〇〇年〇〇月〇〇日～平成〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p>ご依頼日 研究分野(楽器)名 平成 年 月 日 電信振 手数料</p> <p>三井住友銀行 東京公務部 普通 151793 金額 ¥36000</p> <p>受取人 東京芸術大学 検定料収納口 整理番号 志願者氏名</p> <p>依頼人(志願者)</p> <p>※【取扱金融機関へのお問い合わせ】 1. 下記の整理番号は、氏名欄部へ連続して打電して下さい。 2. 収納印はA・B・C票の3ヶ所にもれなく押印して下さい。 3. B・C票は、必ず依頼人へお返し下さい。 4. 三井住友銀行本支店にて振込の場合の振込手数料は無料となります。 (ATM等は不可です)</p> <p>(取扱金融機関保管)</p>	<p>B票</p> <p>振込金受取書 〔東京芸術大学〕入学試験検定料</p> <p>平成 年 月 日 金額 ¥36000</p> <p>振込先 三井住友銀行 東京公務部 受取人 東京芸術大学 整理番号 志願者 氏名 (フリガナ)</p> <p>手数料</p> <p>収納印 収入印紙</p> <p>(志願者保管)</p>	<p>C票</p> <p>〔東京芸術大学〕入学試験 検定料振込金受付証明書</p> <p>振込先 三井住友銀行 東京公務部 受取人 東京芸術大学 整理番号 志願者 氏名 (フリガナ)</p> <p>収納印</p> <p>(大学提出用)</p>
--	--	--

**入学試験検定料振込金
受付証明書提出用紙**

◇銀行等金融機関での振り込みの場合

C票
〔東京芸術大学〕入学試験
検定料振込金受付証明書

金融機関窓口で振り込みをした際、返却されるB・C票のうち、C票を切り離し、志望研究分野（楽器）名・氏名を記入のうえ、「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙〈修士用〉」に貼り付けする。

(ウ) 外国からの送金

- ・志願者が外国から送金する場合は、下記の要領に従って送金すること。
- ・検定料36,000円+自国で発生する送金手数料（送金時に確認すること。）+日本国内円為替手数料 及び 日本国内被仕向送金手数料（4,000円程度）を用意すること。
- ・手数料を依頼人負担として送金すること。依頼人負担の指定を行わない場合、手数料を差し引いた残額しか入金されないため、検定料不足となり出願を受理することができないので注意すること。
- ・振り込み後、「外国送金依頼書（送金銀行の受領印またはサイン入り）」の写しを「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙〈修士用〉」に貼り付けて、他の書類とともに提出すること。

送金種類 (Type of remittance)	電信送金 (Telegraphic transfer)
通貨 (Currency)	日本円 (Japanese Yen)
支払方法 (Method of payment)	通知払 (Advice and pay)
円為替手数料 (Yen exchange charge)	依頼人負担 (Payment Comm. for applicant's A/C)
被仕向送金手数料 (Remittance charge)	依頼人負担 (Payment Comm. for applicant's A/C)
送金目的 (Purpose of payment)	検定料 (Screening fee)
銀行名 (Paying bank)	三井住友銀行 (Sumitomo Mitsui Banking Corporation)
支店名 (Branch)	東京公務部 (Tokyo Koumubu Branch)
スウィフトコード (SWIFT CODE)	SMBCJPJT
銀行住所 (Bank Address)	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-6-12 1-6-12 Toranomom, Minato-ku, Tokyo Japan
受取人口座番号 (Account number)	普通預金151793 (A/C 151793)
受取人 (Account name)	国立大学法人 東京芸術大学 検定料収納口 (Tokyo University of the Arts)
住所 (Address)	〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 (12-8 Ueno-park, Taito-ku, Tokyo Japan)
連絡事項 (Message to payee)	・志願者の氏名 (Name of applicant) ・受験研究科, 専攻, 研究分野 (Name of the department which you are applying)

④ 返還について:

願書を受理した後は、次の(ア)または(イ)の場合を除き、いかなる理由があっても振り込み済みの検定料は返還しない。

(ア) 検定料を振り込んだが、願書を提出しなかった、または願書が受理されなかった場合

(イ) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

上記(ア)または(イ)に該当する場合の返還請求の方法は下記の通りとする。

便せん等を使用し、以下①～⑦の項目について記入した「検定料返還請求願」を作成し、「取扱明細書」、「収納証明書」、「C票」のいずれかを添付して、東京芸術大学戦略企画課経理係（郵便番号110-8714 東京都台東区上野公園12-8）まで郵送すること。

①氏名, ②住所, ③電話番号, ④受験予定の専攻・研究分野, ⑤金額, ⑥返還請求の理由, ⑦振り込み先の銀行名・支店名・普通口座または当座口座の別・口座名義 (カタカナ) ・口座番号

※大学から志願者への返還金額は振込手数料を差し引いた額である。

※返還請求願受領後、返還金の振り込みまで通常約1ヶ月かかる。

※志願者本人が銀行口座を持っておらず、保護者等の口座に返還を希望する場合は、必ずその旨を書いた委任状を返還請求願と一緒に送付すること。

東京藝術大学 コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法のご案内

お申込みの前に

お申込みの際に、
振込依頼書に印字されている整理番号(5桁)の入力が必要です。

整理番号メモ
(5桁)

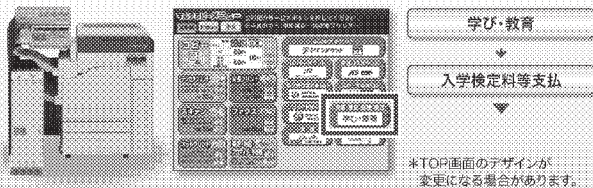
下記のコンビニエンスストアの端末にて払い込みができます。

セブン-イレブン マルチコピー機

<http://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。

TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



*TOP画面のデザインが
変更になる場合があります。

LAWSON Loppi

<http://www.lawson.co.jp>

MINI STOP Loppi

<http://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。

TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。

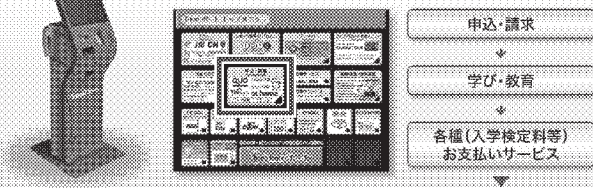


あなたも、コンビニに、 FamilyMart Famiポート

<http://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある「Famiポート」へ。

TOP画面の「申込・請求(学び・教育)」よりお申込みください。

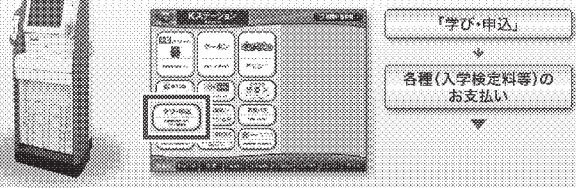


Circle K ステーション Kstation

<http://www.circleksunkus.jp>

最寄りの「サークルK・サンクス」にある「Kステーション」へ。

TOP画面の「学び・申込」よりお申込みください。



東京藝術大学 をタッチし、申込情報を入力して「払込票・申込券・受付票」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

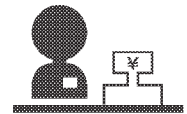
コンビニのレジでお支払いください。

- 端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi, Famiポート)または「受付票」(Kステーション)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**
- お支払い後は「取扱明細書」(マルチコピー機、Kステーション)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi, Famiポート)を受け取ってください。

- *お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できませんのでご注意ください。
- *お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなりますのでご注意ください。
- *すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

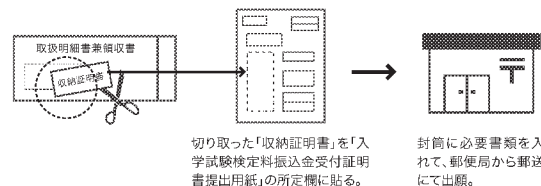
※全コンビニ共通

払込手数料	入学検定料が5万円未満	432円
-------	-------------	------



「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の
「収納証明書」部分を切り取り、
学生募集要項の指示に従って、所定の欄に貼りつけてください。

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある欄は
使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



切り取った「収納証明書」を「入
学試験検定料振込金受付証明
書提出用紙」の所定欄に貼る。

封筒に必要な書類を入
れて、郵便局から郵送
にて出願。

【入試に関するお問合わせ先】 東京藝術大学
美術学部教務係 TEL 050-5525-2122 / 音楽学部教務係 TEL 050-5525-2309 / 映像研究科教務係 TEL 050-5525-2671
(受付時間) 月曜～金曜 9:00～12:30 13:30～16:30 ※土曜・日曜・祝日を除く

【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター <http://e-apply.jp/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。

3. 願書提出先

東京藝術大学音楽学部教務係 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

4. 受験票

願書の受付手続きを完了した者に対して受験票を郵送する。

- (注) 1. 三味線音楽研究分野の長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線・長唄・常磐津・清元は、三味線音楽として通し番号で受験番号をふる。
2. 作曲専攻を除く全専攻 平成27年9月4日(金) } までに受験票が到着しない場合は、音楽学部教務係へ申し出ること。
作曲専攻のみ 平成28年1月22日(金) }
- [音楽学部教務係 電話050-5525-2309]

5. 障害のある入学志願者の事前相談

修学上または入学試験の実施上特別な配慮を必要とする入学志願者は、出願前に音楽学部教務係に申し出て、相談のうえ出願すること。

また、出願締切以後の不慮の事故による負傷者等においても、速やかに音楽学部教務係と相談すること。

6. 提出書類

志願者は、次表①から②⑥までの該当する書類を本学所定の封筒を使用し「書留速達」で郵送すること。

書類	様式等	記入要領等
① 入学願書	本学所定の様式	入学願書に記入する氏名は、必ず戸籍と同一文字でなければならない。その他の提出書類についても同様である。
② 履歴書	〃	音楽学習歴欄の記入は、大学での授業に含まれる発表会を省略してもよい。
③ 写真票	〃	写真は、明らかに志願者本人であることが認められる脱帽、上半身、正面向きで出願前3か月以内に撮影したものを写真票の所定の欄に貼ること。(スナップ写真不可)
④ 受験票 〔裏面：返信用郵便はがき〕	〃	受験票裏面は、「返信用郵便はがき」である。受験者自身が、自己の住所・氏名・郵便番号を明記し、 52円切手(速達の場合は332円切手) を貼ること。なお、遠隔地の場合は、速達扱いにしておくことが望ましい。
⑤ 入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙<修士用>	〃	検定料 36,000円 をコンビニエンスストア又は銀行振込により納入したのち、振り込み先から受領する「取扱明細書」、「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取ったもの、「入学試験検定料振込金受付証明書(C票)」のいずれかを本紙に貼り付けること。
⑥ 入学手続書類送付用宛名ラベルシール	〃	最終合格者への書類送付時に使用するラベル。必ず志願者本人に書類が届く宛先(日本国内に限る。海外在住者は、日本国内の代理人を指定すること。)を記入すること。
⑦～⑰ 受提出曲目録	〃	提出者は以下の通り。 ⑦～⑮…声楽専攻、ピアノ・オルガン・管打楽・指揮・室内楽・古楽・尺八・能楽囃子・ソルフェージュ各研究分野志願者。 ⑯…音楽教育及びソルフェージュ研究分野志願者のうち『「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」の「ピアノ」受験者。 ⑰…音楽学及び音楽教育研究分野志願者のうち他大学出身者で『音楽に関する基礎能力検査「ピアノ」』を受験する者。
⑱ 邦楽専攻音楽に関する基礎能力検査科目受提出用紙	〃	提出は、尺八、能楽、能楽囃子、邦楽囃子、日本舞踊各研究分野志願者のうち他大学出身者。(邦楽囃子研究分野志願者は楽器種も記入すること。)
⑲ 研究計画書(1) 〔音楽文芸志願者用〕	〃	提出は、音楽文芸研究分野志願者。1.志望理由、2.研究計画を各々800字以内で書くこと。
⑳ 研究計画書(2) 〔音楽音響創造志願者用〕	〃	提出は、音楽音響創造研究分野志願者。入学後の研究計画を1200～1600字で具体的に記述すること。
㉑ 志望理由書	〃	提出は、オルガン・ソルフェージュ各研究分野志願者、邦楽専攻志願者。400字以内。
㉒ 成績証明書	様式任意	出身大学長または学部長が証明したもの。(本学卒業者、卒業見込者は不要。) 厳封すること。
㉓ 卒業(または卒業見込)証明書	〃	出身大学長または学部長が証明したもの。(本学卒業者、卒業見込者は不要。)
㉔ 受験許可書	〃	現に教職その他の公職にある者及び会社等に在職中で、服務義務のある者は、 所属長の受験許可書(様式任意) を添付すること。
㉕ 国費外国人留学生在籍証明書	〃	国費外国人留学生は、在籍大学に対し、その身分を証明する書面の発行を依頼し、本学に提出すること。
㉖ 演奏作品集楽譜 〔古楽研究分野〕	〃	提出は、古楽研究分野志願者。詳細は20ページを参照すること。

- (注) 1. ①～④までの書類は、一連綴りのまま提出すること。
 2. 願書等受理後は、いかなる事情があっても書類の変更はしない。
 3. 室内楽研究分野をグループで受験する場合も、必ず個々に出願すること。
 4. 婚姻等により証明書と現在の姓が異なる場合は、戸籍抄本を添付すること。
 5. 証明書が日本語以外で記載されている場合は、日本語訳を添付すること。
 6. 音楽音響創造研究分野志願者は、上記出願書類とは別便で「作品あるいは論考」を提出すること。詳細は、26ページを参照すること。

VI 選抜試験場

東京藝術大学音楽学部 東京都台東区上野公園12-8

○ J R 線一上野駅公園口、鶯谷駅下車、徒歩約10分

○ 東京メトロ一千代田線根津駅下車、徒歩約15分

銀座線・日比谷線 上野駅下車徒歩15分

○ 京成電鉄一京成上野駅下車徒歩15分

VII 試験科目

(「VIII 試験科目の詳細」参照のこと)

専攻	研究分野	試験科目				
		専門試験	語学	基礎学科目 (音楽史)	面接 (注2)	音楽に関する 基礎能力検査 (他大学出身者のみ)
○は要受験・△は一部 要受験・×は受験不要						
作曲	作曲	作品審査及び口述試問	英・独・仏・伊語から1科目	○ (注3)	×	×
	エクリチュール	作品審査, 実技, 口述試問				
音楽	音楽	1. 音楽実技 2. 新曲視唱(指定された志願者のみ)	英・独・仏・伊語から1科目	○	×	×
器楽	ピアノ	専攻楽器の実技	英・独・仏・伊語から1科目	○	×	×
	オルガン	専攻楽器の実技	英・独・仏・伊語から1科目	○	△	×
	弦楽	専攻楽器の実技	英・独・仏・伊語から1科目	○	×	×
	管打楽	専攻楽器の実技	英・独・仏・伊語から1科目	○	△	×
	室内楽	1. 室内楽の実技 2. 専攻楽器の実技(個人受験者のみ)	英・独・仏・伊語から1科目	○	×	×
	古楽	1. 専攻楽器の実技 2. アンサンブル・通奏低音	英・独・仏・伊語から1科目	○	○	×
指揮	指揮	1. 指揮実技(合奏による) 2. 指揮適性検査 3. ピアノ実技	英・独・仏・伊語から1科目	○	△	×
邦楽	全研究分野	1. 専攻楽器等の実技 2. 口述試問	国語古文	○	△	○
音楽文化学	音楽学	1. 専攻論文 2. 音楽学 3. 口述試問	英・独・仏・伊・露・西語から2科目(ただし「日本・東洋音楽史」ならびに「音楽民族学」志願者は1科目のみ)	○ (注3)	×	△
	音楽教育	1. 小論文 2. 口述試問 3. 「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」(注1) (作曲, 音楽, 器楽, 邦楽の各専攻で課されている「楽器等の実技試験」または、音楽文化学専攻音楽学研究分野において課されている「音楽学の筆記試験」のいずれか一つを選択し受験する。)	左記「専門試験」3.において「楽器等の実技試験」(邦楽以外)を選択した者は、英・独・仏・伊語から1科目、「楽器等の実技試験」(邦楽)を選択した者は、国語古文を受験する。「音楽学の筆記試験」を選択した者は、音楽学研究分野において課されている語学試験を受験する。	○ (注3)	×	○
	ソルフェージュ	1. ソルフェージュ試験 2. 記述試験 3. 口述試問 4. 「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」(注1) (作曲, 音楽, 器楽, 邦楽の各専攻で課されている「楽器等の実技試験」または、音楽文化学専攻音楽学研究分野において課されている「音楽学の筆記試験」のいずれか一つを選択し受験する。)	左記「専門試験」4.において「楽器等の実技試験」(邦楽以外)を選択した者は、英・独・仏・伊語から1科目、「楽器等の実技試験」(邦楽)を選択した者は、国語古文を受験する。「音楽学の筆記試験」を選択した者は、音楽学研究分野において課されている語学試験を受験する。	○ (注3)	×	△
	音楽文芸	1. 専攻論文 2. 小論文 3. 口述試問	英・独・仏・伊・露・西語・国語古文から2科目	○ (注3)	×	×
	音楽音響創造	1. 聴覚試験 2. 記述試験 3. 口述試問	英・独・仏・伊・露・西語・国語古文から1科目	○ (注3)	×	×

(注1) 音楽教育及びソルフェージュ研究分野志願者の「「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」を、エクリチュール研究分野及び室内楽研究分野で課されている楽器実技等で受験することはできない。また、音楽専攻で受験する者は、音楽専攻実技試験第1回のみを受験すること。(なお、平成27年9月17日(木)にこれら受験者の合否発表はない。)

(注2) 【面接について】「○」は受験者全員に課する。「△」は「他大学出身者」及び「本学出身者のうち学部の専攻と受験する修士課程の専攻が異なる者」にのみ課する。「×」は課さない。

(注3) 作曲専攻及び音楽文化学専攻志願者に課する基礎学科目(音楽史)の出題形態は、他の研究分野志願者と異なるので、詳しくは28ページを参照すること。

※過去2年分の入試問題は、音楽学部教務係で閲覧できる。(音楽学研究分野については、楽理科研究室でも閲覧できる。)

※課せられた試験科目を1つでも受験しなかった者は、失格(不合格)となる。

VIII 試験科目の詳細

1. 専門試験

専攻	研究分野	課 題 曲 等
作曲	◎ 作曲専攻共通注意事項（作曲，エクリチュール） 下記に定める作品等を平成28年1月22日（金）正午までに直接又は郵送により音楽学部教務係に提出のこと。ただし，音楽教育又はソルフェージュの志願者で，作曲（エクリチュールは選択不可）により受験する者の提出期限は，平成27年8月17日（月）午後4時までとする。（郵送による場合も上記期限までに教務係に届くように発送のこと。ただし平成27年8月8日（土）から平成27年8月16日（日）までは本学の夏季休業のため，直接音楽学部教務係に提出することができないので注意すること。）	
	作 曲	[入試課題曲（提出作品）] 二管編成以上の管弦楽作品およびそれ以外のジャンル（演奏者1～10名まで，声楽を含むも可）の作品各1曲の楽譜を提出する。
	エクリチュール	1. [入試課題曲（提出作品）] 二管編成以上の管弦楽作品1曲の楽譜を提出する。 2. 与えられた主題で4声フーガを作曲する。（6時間） 3. ピアノによる数字付きバス，および旋律の 和声付け試験 4. 総譜初見視奏 (予見合計20分)

●作曲専攻の試験日程について

本研究科（修士課程）入学試験において，作曲専攻の試験については，全ての試験を平成28年2月に行う。

※作曲専攻願書受付期間は平成28年1月4日（月）から平成28年1月8日（金）まで。

●口述試問について

作曲研究分野及びエクリチュール研究分野において口述試問を課する。平成28年度以降，大学院音楽研究科（修士課程）作曲専攻の学位審査科目に新たに「修士論文」が加わる。そのため本口述試問において，修士論文のテーマと研究方法について質問を行うので，十分準備すること。

専攻	声 種	課 題 曲 等
声 楽	ソ プ ラ ノ (S)	提出曲 提出用紙の書式に従って原語で記入すること。 第1次試験：下記のA, B, Cより分野を1つ選択し、その中から任意の1曲を提出する。 第2次試験：第1次試験と同一分野から1曲（曲目は重複しないこと）、残る2つの分野から2曲ずつを提出する。 A：モーツァルト以降の作曲家（モーツァルトを含む）によるオペラ作品の独唱曲。（コンサート・アリアを含む） B：オラトリオ，ミサ曲，カンタータ等の宗教的独唱曲。 バロック・オペラ，世俗カンタータ，マドリガーレ等の世俗的独唱曲。 C：歌曲 ※オペラ，オラトリオ等のアリアは原調・原語。歌曲分野についても原語とするが，移調は自由。（慣習的に認められている移調・言語はこの限りではない）
	メゾソプラノ (Ms)	
	ア ル ト (A)	
	テ ノ ー ル (T)	
	バ リ ト ン (Br)	
	バ ス (B)	歌唱実技試験 第1次試験：第1次試験の演奏曲として提出した1曲（4分以内）を暗譜で演奏する。 第2次試験：第2次試験の演奏曲として提出した1曲と当日本学が記号（イ，ロ，ハ，ニ）で指定する2曲の計3曲を9分以内（曲間を含む）にまとめて暗譜で演奏する。（各曲，適宜カットしてよい）演奏曲順は自由。 ※第1次試験及び第2次試験ともに，演奏はピアノ伴奏とする。（志願者が伴奏者を同伴すること。）
		新曲視唱（音大及び音楽関係学部・学科等の出身者を除く） ※上記出身者に該当するかどうか判断できない志願者は，事前に本学音楽学部教務係に問い合わせること。

● 「オペラ研究分野」の募集停止について

平成28年度より，従来の「大学院音楽研究科（修士課程）声楽専攻オペラ研究分野」は「大学院音楽研究科（修士課程）オペラ専攻」に改組するため，平成28年度入学試験において，当該研究分野としての募集は行わない。

新設する「大学院音楽研究科（修士課程）オペラ専攻」に係る入学試験の内容については，本学ホームページで公表している。

当該専攻の入学試験に係る学生募集要項は，平成27年7月中旬配布予定である。

※詳細は本学生募集要項2ページを参照すること。

専攻	研究分野	課 題 曲 等
器	ピアノ (Pf)	<p>下記の a) 及び b) の区分より、ピアノ独奏用作品を組み合わせた30分以上のプログラムを2種類提出すること。それぞれのプログラムは必ず a) b) 両方の作品を含むこと。 当日各自の抽選によりいずれか一方のプログラムを演奏する。</p> <p>a) バロックから古典派までの作品。但し、8分以上とする。 b) ロマン派以降の作品（出版されているものに限る。但し、内部奏法等を含んだ作品は除く。）</p> <p>(注) 1) 演奏は暗譜とする。 2) 繰り返しは自由とする。 3) a) b) 共、複数曲でも可。 4) ソナタ・変奏曲の抜粋は認めない。 5) 時間の都合により一部を省略させることがある。</p>
	オルガン (Org)	<p>(A) 課題曲</p> <p>(1) 北ドイツ楽派の大規模な Toccata, Praeludium, Praeambulum の中から任意の一曲 (2) J. S. Bach : 6つの Triosonate BWV526-530 の中から任意の一曲 (全楽章) (3) 17~18世紀のフランスの作曲家による Tierce en taille または Cromorne en taille (4) M. Reger : Sonate Nr.2 d-moll Op.60より III.Introduktion und Fuge (5) Ch. -M. Widor : Symphonie Op.42-6より IV. Cantabile (6) W. Albright : Organbook III より Finale-The Offering</p> <p>(注) 時間の都合により一部省略することがある。</p> <p>○試験日以前にレジスタータイムを2回与える。</p> <p>(B) 即興実技 数字付低音による課題を初見で実施する。 なお、当日5分間の試奏時間を与える。ただし書き込みはできない。</p> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器	弦	<p>◎ 弦楽器共通注意事項 (ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス・ハープ)</p> <p>○演奏はすべて暗譜とし、繰り返しは省略する。</p> <p>○志願者は、試験当日伴奏者を同伴すること。</p> <p>○当日、時間の都合により一部省略させることがある。</p>
		<p>ヴァイオリン (Vn)</p> <p>1. 次の中から任意の1曲(全曲) J.S.Bach : Partita for Violin solo No.1 B minor BWV1002 No.2 D minor BWV1004 No.3 E major BWV1006</p> <p>2. 次の中から任意の1曲の第1楽章 (1) L.v.Beethoven : Concerto D major Op.61 (カデンツァは自由) (2) J.Brahms : Concerto D major Op.77 (カデンツァは自由) (3) F.Mendelssohn : Concerto E minor Op.64</p>
		<p>ヴィオラ (Va)</p> <p>1. J.S.Bach : Solo Suite No.5 C minor BWV1011 (全曲) 2. 次の中から任意の1曲 (1) B.Bartók : Concerto (第1楽章) (最後のカデンツァを含む) (シェルイ版, 改訂版どちらでも可) (2) W.Walton : Concerto (第1楽章, 第2楽章)</p>
		<p>チェロ (Vc)</p> <p>1. J.S.Bach : Solo Suites の中から No.4, No.5, No.6より1曲を選び, Prélude, Allemande, Courante を演奏すること。 2. 次の中から任意の1曲 (1) J.Haydn : Concerto D major Op.101 (全楽章, カデンツァを含む) (2) A.Dvořák : Concerto B minor (全楽章) (3) R.Schumann : Concerto A minor (全楽章) (4) E.Elgar : Concerto E minor Op.85 (全楽章) (5) D.Shostakovich : Concerto No.1 Op.107 (全楽章)</p>
		<p>コントラバス (Cb)</p> <p>1. Hans Fryba : A Suite in the Olden Style より Prélude Allemande Gigue 2. 次の中から任意の1曲(全楽章) (1) K.D.Dittersdorf : Concerto E major (2) J.B.Vanhal : Concerto D major (3) G.Bottesini : Concerto No.1 F sharp minor (4) G.Bottesini : Concerto No.2 B minor (5) S.Koussevitzky : Concerto F sharp minor</p>
	<p>ハープ (Hp)</p> <p>1. 次の中から任意の1曲 (1) C.P.E.Bach : Sonata F major 又は G major (全楽章, 何版でも可。繰り返しは無しとする。) (2) G.F.Händel : Concerto (全楽章, 何版でも可。繰り返しは無しとする。) 2. 次の中から任意の1曲 (1) Fauré : Impromptu (2) Tailleferre : Sonata (全楽章)</p>	
楽		

専攻	研究分野等	課 題 曲 等			
器 管 打 楽	<p>◎ 管打楽器共通注意事項</p> <p>○志願者は、試験当日伴奏者を同伴すること。</p> <p>○受験者同士の譜めくりは禁止する。</p> <p>○出版社の指定のないものは、何版でもよい。</p> <p>○演奏箇所は当日指定される箇所を演奏すること。</p> <p>○特に指定のないものは、全楽章とする。</p>				
	木 管	フルート (Fl)	<p>1. 課題曲 下記の a)～d) より任意の 1 曲を選択し演奏すること。(カデンツァを含む)</p> <p>a) W.A.Mozart : Konzert G-Dur K.313</p> <p>b) W.A.Mozart : Konzert D-Dur K.314</p> <p>c) A.Jolivet : Concerto pour Flûte</p> <p>d) 尾高尚忠 : フルード協奏曲 Op.30B</p> <p>2. 自由曲 任意の無伴奏現代曲を 1 曲演奏すること。</p>		
		オーボエ (Ob)	<p>1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert C-dur K.314より第 1, 2 楽章</p> <p>2. 自由選択曲 a)～e) より任意の 1 曲を選択し、演奏すること。</p> <p>a) E.Carter : Inner Song (Boosey & Hawkes)</p> <p>b) A.Dorati : Cinq pièces pour le hautbois より第 1 曲と第 5 曲 (Boosey & Hawkes)</p> <p>c) H.Holliger : Sonate für Oboe solo より I Präludium と II Capriccio (Schott)</p> <p>d) G.Silverstrini : Six études pour le hautbois より第 1 曲と第 6 曲 (Edition du Hautbois)</p> <p>e) I.Yun : Piri oboe solo (Bote & Bock)</p>		
		クラリネット (Cl)	<p>1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert A-Dur K.622より 第 1, 2 楽章</p> <p>2. 自由曲 (任意による 1 曲)</p>		
		ファゴット (Fg)	<p>1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert B-Dur K.191 (186e) (カデンツァなし)</p> <p>2. 自由曲 (任意による 1 曲)</p>		
		サクソフォーン (Sx)	<p>1. 課題曲 J.Ibert : Concertino da Camera</p> <p>2. 自由曲 (任意による 1 曲)</p>		
		金 管	ホルン (Hr)	<p>1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert Nr.2 Es-Dur K.417より 第 1 楽章</p> <p>2. 自由選択曲 a)～c) より任意の 1 曲を選択し、演奏すること。</p> <p>a) R.Strauss : Konzert Nr.1 Es-Dur Op.11</p> <p>b) Hermann Neuling : Bagatelle für tiefes Horn und Klavier</p> <p>c) R.Schumann : Adagio und Allegro Op.70</p>	
			トランペット (Tp)	<p>1. 課題曲 H.Tomasi : Concerto 第 1 楽章 (カデンツァを含む)</p> <p>2. 自由選択曲 a)～c) より任意の 1 曲を選択し、演奏すること。</p> <p>a) J.W.Hertel : Concerto No.3 in D 第 1, 2 楽章</p> <p>b) G.Ph.Telemann : Concerto in D 第 1 曲 (Adagio) と第 4 曲 (Allegro)</p> <p>c) L.Mozart : Concerto in D 全楽章</p>	
			トロンボーン (Tb)	テナートロンボーン (TTb)	<p>1. 課題曲 F.Martin : Ballade (Universal Edition)</p> <p>G.Ch.Wagenseil : Concerto * (Universal Edition)</p> <p>*アルトトロンボーンで演奏すること。カデンツァは自作創作も含め自由。</p> <p>2. 自由曲なし</p>
				バストロンボーン (BTb)	<p>1. 課題曲 T.Albinoni : Sonate en Ré majeur adaptée pour Trombone basse et piano (Gérard Billaudot)</p> <p>2. 自由曲 (任意による 1 曲)</p>
		ユーフォニアム (Euph)	<p>1. 課題曲 J.Horovitz : Euphonium Concerto (Novello)</p> <p>2. 自由曲 (任意による 1 曲)</p>		
	チューバ (Tu)	<p>1. 課題曲 K.Penderecki : Capriccio</p> <p>Eugène Bozza : Concertino pour Tuba en Ut ou Saxhorn Basse en Si bémol et Orchestre ou Piano (Alphonse Leduc)</p> <p>2. 自由曲なし</p>			
	打楽器 (Pc)	<p>1. 課題曲 F.Dupin : Myriades (Alphonse Leduc)</p> <p>2. 自由曲 (任意による 1 曲)</p>			

専攻	研究分野等	課 題 曲 等	
器 室 楽	内 楽	<p>◎ 室内楽共通注意事項 (弦楽四重奏・ピアノ三重奏・二重奏・木管五重奏)</p> <p>○個人で受験する場合，志願者は当日，共演者を同伴すること。</p> <p>○課題曲は，特別の指定がないものは，全楽章とする。繰り返しは省略する。</p> <p>○当日，時間の都合により一部省略させることがある。</p>	
		弦楽四重奏	<p>グループ受験の課題曲は下記の3曲とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 次の弦楽四重奏曲の中から任意の1曲 Haydn 全曲, Mozart 全曲, Beethoven : Op.18の1 - 6 2. 次の弦楽四重奏曲の中から任意の1曲 Beethoven : Op.59の1, 2, 3, Op.74, Op.95 3. 次の作曲家の弦楽四重奏曲の中から任意の1曲 Ravel, Janáček, Prokofiev, Bartók, Shostakovich (個人での受験は認めない)
		三 重 奏 ピアノとヴァイ オリンとチェロ	<p>グループ受験の課題曲は下記の3曲とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 次のピアノ三重奏曲の中から任意の1曲 Haydn 全曲, Mozart 全曲, Beethoven 全曲 2. 次のピアノ三重奏曲の中から任意の1曲 Faure, Ravel, Shostakovich (第1番, 第2番) 3. 上記の1, 2以外のピアノ三重奏作品から1曲 (個人での受験は認めない)
二 重 奏 ピアノとヴァイ オリン, ヴィオ ラ, チェロ	<p>I グループで受験する場合 課題曲は，次のA・B・C群の中から各々1曲ずつ選び計3曲を演奏する。</p> <p>① ヴァイオリンとピアノの二重奏</p> <p>A群 Mozart : Sonate für Klavier und Violine B-dur KV454 Sonate für Klavier und Violine A-dur KV526 Beethoven : Sonaten für Klavier und Violine (全10曲) Schubert : Sonate für Klavier und Violine A-dur Op.162 D574</p> <p>B群 Stravinsky : Duo concertante pour violon et piano Prokofiev : Sonate Nr.1 für Violine und Klavier Op.80 Bartók : Violinsonata No.1 Violinsonata No.2 Ravel : Sonate pour violon et piano (3楽章形式) Webern : 4 Stücke für Violine und Klavier Op.7</p> <p>C群 A, B群の作曲家以外のヴァイオリンとピアノのための二重奏作品。</p> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>		

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器 室 楽 楽	二重奏 ピアノとヴァイ オリン、ヴィオ ラ、チェロ	<p>② ヴィオラとピアノの二重奏</p> <p>A群 Hummel : Sonate für Viola und Klavier Es-dur Schubert : Sonate für Klavier und Arpeggione a-moll D821 Ausgabe für Viola Schumann : Marchenbilder Op.113</p> <p>B群 Bowen : Sonate für Viola und Klavier No.1 Op.18 R.Clarke : Sonate für Viola und Klavier Hindemith : Sonate für Viola und Klavier Op.11-4 Hindemith : Sonate für Viola und Klavier,1939 Shostakovich : Sonate für Viola und Klavier Op.147</p> <p>C群 A, B群の作曲家以外のヴィオラとピアノのための二重奏作品。</p> <p>③ チェロとピアノの二重奏</p> <p>A群 Beethoven : Sonaten für Klavier und Violoncello (全5曲) B群 Shostakovich : Sonate für Violoncello und Klavier d-moll Op.40 Prokofiev : Sonate für Violoncello und Klavier Op.119 Fauré : Sonate pour violoncelle et piano No.1 Op.109 Sonate pour violoncelle et piano No.2 Op.117 Britten : Sonata for cello and piano Op.65 Poulenc : Sonate pour violoncelle et piano</p> <p>C群 A, B群の作曲家以外のチェロとピアノのための二重奏作品。</p> <p>II 個人で受験する場合 各楽器とも下記の1. 2. 3. を演奏する。 1. の課題は暗譜とする。</p> <p>① ピアノ</p> <p>1. 下記a) およびb) の2曲 a) L.v.Beethoven : Klaviersonate Nr.2 Op.2-2 A-dur, Klaviersonate Nr.7 Op.10-3 D-dur, よりいずれか1曲 (全楽章) b) F.Chopin : Etude Op.10, Op.25から任意の1曲 (但し Op.10-3, 6, Op.25-7を除く)</p> <p>2. 前記のグループ受験課題曲A群の中から任意の1曲 3. B群から任意の1曲</p> <p>② ヴァイオリン</p> <p>1. 次の中から任意の1曲 (全曲) J.S.Bach : Partita for Violin solo No.1 B minor BWV1002 No.2 D minor BWV1004 No.3 E major BWV1006</p> <p>2. 前記のグループ受験課題曲 A 群の中から任意の1曲 3. B群から任意の1曲</p> <p>③ ヴィオラ</p> <p>1. Reger : 3 Suiten für Viola Op.131d より, 組曲第3番の第1楽章 2. 前記のグループ受験課題曲A群の中から任意の1曲 3. B群から任意の1曲</p> <p>④ チェロ</p> <p>1. J.S.Bach : Solo Suiten の中から任意のプレリュード1曲 2. 前記のグループ受験課題曲A群の中から任意の1曲 3. B群から任意の1曲</p>

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器 楽	室内 二重奏 ピアノとフルート	<p>グループ受験の課題曲は下記の3曲とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Schubert : Introdution und Variationen über ihr Blümlein alle Op.160 D.802 2. Prokofiev : Sonate für Flöte und Klavier Op.94 D-Dur 3. Isang Yun : “Garak” for flute and piano <p>(個人での受験は認めない)</p>
	内 木管五重奏	<p>グループ受験の課題曲は下記のとおりとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. György Ligeti : Sechs Bagatellen für Bläserquintett (Schott 版) 2. A・B群より各々1曲ずつ演奏すること。 <p>A群</p> <p>Franz Danzi : Bläserquintett B-dur Op.56 Nr.1 Anton Reicha : Bläserquintett Es-dur Op.88 Nr.2 Paul Taffanel : Quintette à vent en sol mineur</p> <p>B群</p> <p>Paul Hindemith : Kleine Kammermusik Op.24 Nr.2 Jacques Ibert : Trois Pièces Brèves Darius Milhaud : La Cheminée du Roi René Jean Françaix : Quintette</p> <p>(個人での受験は認めない)</p>

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器	<p>古</p> <p>＜注意事項＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 試験当日、演奏する楽章や繰り返しについて指示する。また演奏時間の関係で中断させることがあるが、採点には影響しない。 鍵盤楽器以外の受験者は、チェンバロによる通奏低音奏者を同伴すること。また、バロック声楽受験者が必要なオブリガート楽器は、チェンバロで代用すること。チェンバロ専攻、バロックオルガン専攻、バロックチェロ専攻の試験に必要なアンサンブル上声部奏者は、本学で用意する。 すべて課題曲の演奏順は自由とする。 演奏する作品の楽譜すべてをA4判でコピーし演奏順に重ね、左上1か所をホチキスで留めたものを4部作成し、出願と共に本学音楽学部教務係宛に提出すること。所定の出願用封筒に用意した楽譜が入りきらない場合、出願書類は所定の封筒にて提出し、当該楽譜のみ「古楽受験用楽譜在中」と表書きした任意の封筒にて出願と同時に書留速達により郵送すること。 ソロ及び伴奏に使用できるチェンバロは、 <ol style="list-style-type: none"> a'=415のフレンチタイプ（音域FF-f'''、8'8"4' ヤング第2調律）と、 a'=415のイタリアンタイプ（音域C-d'''、8'8" ミートーン調律）である。 <p>なお、伴奏のためにa'=440のフレンチタイプ（音域FF-f'''、8'8"4' ヤング第2調律）の使用を希望する場合には、出願書類中の受験曲目提出用紙の該当箇所にその旨記すこと。</p> <p>フォルテピアノ専攻試験に使用する楽器は、a'=430の18世紀末ウィーン式モデル（音域FF-g'''）である。</p> バロックオルガン専攻の受験者については、下記の点に留意すること。 <ul style="list-style-type: none"> ※ レジスターのためのアシスタントが必要な者は、出願書類中の受験曲目提出用紙の該当箇所にその旨記すこと。アシスタントは本学が用意する。 ※ 実技試験（ソロ）の行われるオルガンで、レジスタータイム（リハーサル）を2回与える。 ※ 実技試験（ソロ）の行われるオルガンのディスプレイポジションについては、オルガン科の項（14ページ）を参照のこと。 	
	<p>楽</p> <p>バロック声楽 (BVo)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 次の3つのグループから作品を選んで、15分～20分程度のプログラムを構成し演奏する。 [伴奏楽器はチェンバロ（《共通の注意事項》参照）のみとする。基準ピッチの選択は採点に影響しない。] <ol style="list-style-type: none"> G.Caccini または G.Frescobaldi または C.Monteverdi の独唱曲。 J.S.Bach のレチタティーヴォ付きアリア、またはアリアのみ。 上記1) 2) 以外の作曲家による1800年までの独唱曲2曲。 (オラトリオ、カンタータなどレチタティーヴォとアリアを別の楽章としてカウントするものはそれぞれ1曲と数える)。 <p>[プログラム全体の中に伊・独・仏・英語のうち少なくとも2つの言語の歌詞が含まれているように留意すること。またプログラムの中にレチタティーヴォ（ないしはレチタールカンタンド様式の作品）が1つは含まれていること。]</p> 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで実施する。（予見時間5分）
	<p>楽</p> <p>バロック ヴァイオリン (BVn)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 次の3つのグループからそれぞれ作品を選んで演奏する。 <ol style="list-style-type: none"> J.S.Bach：無伴奏ソナタ&パルティータ BWV1001～1006からソナタまたはパルティータを1曲選び、その中から楽章を2つ演奏する。 次のイ) またはロ) またはハ) から1曲 <ul style="list-style-type: none"> イ) D.Castello, G.B.Fontana, B.Marini 又は同時代のイタリアの作曲家の作品。 ロ) A.Corelli：『ヴァイオリン・ソナタ集』作品5（1700）のソナタ第1番～第6番のうち1曲（緩徐楽章には自作の装飾をつけること）。 ハ) H.I.von Biber：『ヴァイオリン・ソナタ集』（1681）の中から1曲 次のニ) またはホ) から1曲 <ul style="list-style-type: none"> ニ) J.M.Leclair：“Quatrième livre de sonates” Oeuvre 9（1743） ホ) F.Couperin：“Concerts Royaux”（1722） 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで実施する。（予見時間5分）

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器	古	<p>1. 次の①～③を演奏する。</p> <p>① 当日指定する調で3オクターヴのスケールを演奏する。テンポは自由、1弓6音または8音、短調は和声的短音階とする。最低音のC以外開放弦を用いない指遣いで弾くこと。</p> <p>② F.Geminiani : Sonata in a, op.5-6</p> <p>③ J.S.Bach : Suite a violoncello solo senza basso No.2~4から選択した1つの組曲のPrélude, Allemande, Courante (AllemandeとCouranteの繰り返しは省く)</p> <p>2. アンサンブル課題：</p> <p>④ G.F.Handel : Sonate e-moll für Flauto Traverso und Basso Continuo (Hallenser Sonate No.2, HWV 375)の第1, 第2楽章を、本学の用意したソロ奏者と、受験生の同伴したチェンバロ奏者とともに演奏する。当日に10分程度のリハーサル時間が与えられる。</p> <p>3. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで実施する。(予見時間5分)</p> <p>[楽器と弓のスタイル(モダン仕様かバロック仕様かなど)は問わないが、ガット弦を使用すること。基準ピッチはa'=415とする。②に関してはチェンバロの通奏低音奏者を同伴すること。版はPeters版またはS.P.E.S(1746年デン・ハーグの版)、③はベーレンライター(2000年出版)、ブライトコップフ(2000年)、東京書籍(2009年)のいずれか、④はベーレンライター版の現代譜、もしくはS.P.E.S等のファクシミリ版を使用すること。]</p>
		<p>1. 次の各作品を演奏する。</p> <p>1) A.Virgiliano : "IL DOLCIMELO"より任意のリチェルカーター一曲 [ルネサンスまたは初期バロックタイプのリコーダーを使用。管の種類及びピッチ、移調は自由。]</p> <p>2) J.-M.Hotteterre : Suite 4 (Oeuvre Second 1715) 全楽章 [バロックタイプのトレブルを使用し、ト短調に移調して演奏。ピッチはa'=415]</p> <p>3) J.S.Bach : Partita イ短調 BWV1013より Allemande, Corrente [ヴォイス・フルート使用の場合は原調、トレブル使用の場合はハ短調に移調して演奏、ピッチは指定しない]</p> <p>4) A.Vivaldi : 協奏曲 ハ長調 RV 444 全楽章 [バロックタイプのソプラニーノを使用。ピッチはa'=415]</p> <p>2. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで実施する。(予見時間5分)</p>
		<p>1. 次の①～⑤を演奏する(繰り返しは省略のこと)。</p> <p>① 次のA群, B群からそれぞれ作曲家を1人ずつ選び、その2人の作曲家の作品を組み合わせ10~12分のプログラムを組む。 A群 G.Frescobaldi, G.M.Trabaci B群 J.P.Sweelinck, W.Byrd, J.Bull</p> <p>② L.CouperinまたはJ.-H.d'AnglebertまたはL.Marchandの組曲を1つ選び、その中からPrélude, Allemande, Courante, Sarabande, Gigue(またはCanarie)を演奏する。</p> <p>③ J.S.Bach : Toccata in fis, BWV 910</p> <p>④ J.J.Froberger : Tombeau fait à Paris sur la mort de Monsieur Blancheroche</p> <p>⑤ A.Forqueras : "Pièce de viole mises en pièces de clavecin"から1曲(4分以内)</p> <p>2. 当日与えられる通奏低音と旋律楽器(または声楽)のためのアンサンブル作品を演奏する。(予見打ち合わせ時間5分)</p>
楽	楽	リコーダー (Rec)
楽		チェンバロ (Cemb)

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器	古	<p>1. 次の①～⑥の各作品を演奏する。</p> <p>① G.Frescobaldi : Aria detto Balletto (※ Mitteltönigwerk を使用すること)</p> <p>② J.P.Sweelinck : Hexachord Fantasia</p> <p>③ N.de Grigny : Pange lingua (全3楽章)</p> <p>④ D.Buxtehude : Es spricht der unweisen Mund wohl, BuxWV 187</p> <p>⑤ J.S.Bach : Präludium und Fuge in D, BWV 532</p> <p>⑥ J.S.Bach : Allein Gott in der Höhe sei Ehr, BWV 676</p> <p>2. 当日与えられる通奏低音と旋律楽器 (または声楽) のためのアンサンブル作品をポジティブオルガンにて演奏する。(予見打ち合わせ時間5分)</p>
	楽	<p>1. 次の各作品 (計3曲) を演奏する。</p> <p>① C.Ph.E.Bach : Fantasia A-dur Wq.58/7 H.278 (Clavier-Sonaten und freye Fantasien nebst einigen Rondos für Kenner und Liebhaber Vol.4 Leipzig 1783 Wq.58より)</p> <p>② 次のどちらか任意の1曲 イ) W.A.Mozart : Klaviersonate B-dur K.281 (繰り返しは省略) ロ) W.A.Mozart : Klaviersonate Es-dur K.282 (繰り返しは省略)</p> <p>③ L.v.Beethoven : Sechs Variationen F-dur Op.34 (繰り返しは省略)</p> <p>2. チェンバロにて次の作品を演奏する。 F.Couperin : 『クラヴサン奏法 L'Art de toucher le clavecin』 から プレリュード第1番 ハ長調</p> <p>3. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロまたはフォルテピアノで実施する。(予見時間5分)</p>

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
指 揮	指 揮	<p>1. 指揮実技 (合奏による)</p> <p>(1) 総譜初見指揮</p> <p>(2) 課題曲…以下の課題より, 当日指定された部分を指揮する。 J.Sibelius : Symphony No.2 in D, Opus 43から第1楽章</p> <p>2. 指揮適性検査</p> <p>(1) スコアリーディング</p> <p>(2) 聴音</p> <p>(3) ピアノ以外の器楽実技 (自由曲・伴奏なし)</p> <p>(4) 音楽一般に関する試問</p> <p>3. ピアノ実技</p> <p>課題曲…全曲の中から, 当日指定された部分を演奏する。 L.v.Beethoven : Sonata for Piano in E-flat Major (No.18), Opus 31 No.3</p>

専攻	研究分野等	課 題 曲 等	
邦	邦楽共通注意事項 ○志願者に対し、試験の際、邦楽全般又はその専門に関する簡単な口述試問を行う。 ○志願者は、志願する部門に応じて下記の課題曲を暗譜で演奏すること。ただし、長唄・常磐津・清元の受験者は、歌詞のみ唄本を用いてもよい。		
	三味線音楽	長唄三味線	「賤機帯」(四世杵屋三郎助作曲)
		常磐津三味線	「関の扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)
		清元三味線	「梅の春」(毛利元義作詞・川口お直作曲)
		長 唄	「賤機帯」(四世杵屋三郎助作曲)
		常 磐 津	「関の扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)
		清 元	「梅の春」(毛利元義作詞・川口お直作曲)
		(注) 長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線の志願者は、各自使用する楽器を持参する。	
	箏 曲	山 田 流	箏・箏歌 「桜狩」(山田検校 作曲) 三絃・歌 「那須野」(山田検校 作曲) (注) 箏・三絃は原則として各自持参の楽器を使用する。ただし、本学で用意した箏(テトロン糸)・三絃の使用も可能。なお、出願の際に、願書の所定欄に持参・借用の別を記入すること。
		生 田 流	箏 「夜々の星」(光崎検校 作曲) 「中空砧」(宮城道雄 作曲) 三絃 「今小町」(菊岡検校 作曲) (注) 箏は本学で用意した楽器(テトロン糸)を使用する。三絃は各自持参の楽器を使用する。
楽	尺 八	琴古流による志願者……1. 「真虚霊」(初世黒沢琴古編曲) 2. 「虚空鈴慕」(同上) 3. 「秋田菅垣」(同上) 都山流による志願者……1. 「岩清水」(流祖中尾都山作曲) 2. 「寒月」(同上) 3. 「懐月調」(同上) ○上記各3曲の中から2曲を選び、演奏する。 ○五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。 ○琴古流による志願者は三浦琴童譜、都山流による受験者は都山流尺八楽会公刊譜によること。	
		共通曲……1. 「松風」(中能島松聲・山木大賀作曲) 2. 「御山獅子」(菊岡検校作曲) ○上記2曲の中から1曲を選び、合奏にて演奏する。 ○五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。 ○琴古流による志願者は竹友社発行譜、都山流による志願者は都山流尺八楽会公刊譜を使用すること。 ○共通曲の伴奏者(箏・三絃)については本学にて用意する。 ※出願の際は、所定の用紙(受験曲目提出用紙)に必要事項を記入の上提出すること。	

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
邦 楽	能 楽	観世流または宝生流による志願者…謡曲独吟「花筐クセ」及び仕舞 「花筐クルイ」 下掛宝生流による志願者……………謡曲独吟「花筐クルイ」及び仕舞 「春栄」 和泉流による志願者……………小謡独吟「名取川」及び小舞 「海老救川」
	能 楽 囃 子	(イ) 笛……………「楽」または「神楽」 (ロ) 小鼓……………囃子「野宮」〈如何なる車ヨリ〉 (ハ) 大鼓……………囃子「野宮」〈如何なる車ヨリ〉 (ニ) 太鼓……………「楽」または「神楽」 ※出願の際は、所定の用紙（受験曲目提出用紙）に必要事項を記入の上提出のこと。
	邦 楽 囃 子	1. 「船弁慶」（二世杵屋勝三郎作曲）（太鼓・大鼓・小鼓）より任意の楽器を選択。 2. 「英執着獅子」（初世杵屋弥三郎作曲）（笛） 3. 各専攻楽器による五線譜初見試奏 注1) 3以外は暗譜で演奏すること。 2) 1, 2の伴奏者（長唄・三味線）は本学係員が担当する。 3) 楽器は各自持参すること。
	日 本 舞 踊	1. 男踊り 清元「北州」 2. 女踊り 長唄「京鹿子娘道成寺」 本学の用意したテープで、両曲、試験官の指定した箇所を踊る。 注1) 録音テープは、清元はビクター版・清元志寿太夫全集による演奏を、長唄はコロムビア版『日本舞踊吾妻流試験課題曲』より芳村伊十郎による演奏を使用する。 2) 両曲ともに小道具は用いず、扇子及び手拭いをもって代用すること。

※日本舞踊の使用音源について

指定された音源の入手が困難な場合は、本学音楽学部教務係に連絡すること。

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音 楽 文 化 学	音 楽 学	1. 専攻論文 試験時間：2時間 各自の専攻テーマについて論じる。 2. 音楽学 試験時間：2時間 音楽美学、音楽理論、西洋音楽史、日本・東洋音楽史、音楽民族学の5部門から2部門を選んで受験する。 3. 口述試問
	音 楽 教 育	1. 小論文 試験時間：2時間 2. 口述試問 3. 「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」 作曲（エクリチュール研究分野は除く）、声楽、器楽、邦楽の各専攻で課されている「楽器等の実技試験」または、音楽文化学専攻音楽学研究分野において課されている「音楽学の筆記試験」のいずれか一つを選択し受験する。ただし、器楽専攻室内楽研究分野で課されている楽器実技は本試験において選択できない。 なお、声楽により受験する者は、声楽専攻実技試験第1回のみ受験すること。 また、ピアノにより受験する者は次の課題曲を演奏すること。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>●ピアノ受験者の課題曲</p> <p>1) Haydn, Mozart, Beethoven のピアノソナタより任意の曲1曲（全楽章）及び</p> <p>2) Chopin の練習曲 Op.10及び Op.25より任意の曲3曲</p> <p>（注）1）繰り返しは省く。 2）演奏は暗譜とする。 3）演奏の一部分を省略することがある。 4）本学所定の受験曲目提出用紙を提出すること。</p> </div>
	ソルフェージュ	1. ソルフェージュ試験 (1) ソルフェージュ実技試験 a. ピアノによる聴音書取（単旋律、複旋律、四声体和声） b. 各種音部記号（ト音記号、ヘ音記号、ハ音記号）による初見唱 c. 初見奏 『「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」』において選択した楽器による初見奏とする。ただし、声楽専攻受験者は「ト音譜表による初見唱」とし、作曲、邦楽の各専攻及び音楽学研究分野受験者は「ピアノによる初見奏」とする。 d. 和声課題（「楽器等の実技試験」の作曲受験者は免除） バスおよびソプラノ課題による四声体和声。 (2) ピアノ実技試験（「楽器等の実技試験」のピアノ受験者は免除） 課題曲：10分前後のピアノ作品を任意に選択し、暗譜で演奏する。一部を指定して演奏させることもある。 2. 記述試験 ソルフェージュ専攻分野に関わるテーマを課した小論文 文字数：800字 試験時間：1時間30分 3. 口述試問 4. 「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」 作曲（エクリチュール研究分野は除く）、声楽、器楽、邦楽の各専攻で課されている「楽器等の実技試験」または、音楽文化学専攻音楽学研究分野において課されている「音楽学の筆記試験」のいずれか一つを選択し受験する。ただし、器楽専攻室内楽研究分野で課されている楽器実技は本試験において選択できない。 なお、声楽により受験する者は、声楽専攻実技試験第1回のみ受験すること。 また、ピアノにより受験する者は次の課題曲を演奏すること。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>●ピアノ受験者の課題曲</p> <p>1) Haydn, Mozart, Beethoven のピアノソナタより任意の曲1曲（全楽章）及び</p> <p>2) Chopin の練習曲 Op.10及び Op.25より任意の曲3曲</p> <p>（注）1）繰り返しは省く。 2）演奏は暗譜とする。 3）演奏の一部分を省略することがある。 4）本学所定の受験曲目提出用紙を提出すること。</p> </div>

【予告】

※平成29年度入試よりソルフェージュ研究分野の作曲、声楽、器楽、邦楽の各専攻で課せられている「楽器等の実技試験」または、音楽文化学専攻音楽学研究分野において課せられている「音楽学の筆記試験」の別を廃止し、ソルフェージュ研究分野受験者全員「ピアノ受験者の課題曲」の試験内容に変更とする。従ってピアノ以外の楽器等では受験できないので注意すること。（1.(2)ピアノ実技試験は削除となる。）

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音 楽 文 化 学	音楽文芸	<p>1. 専攻論文 試験時間：2時間</p> <p>2. 小論文 試験時間：2時間</p> <p>3. 口述試問 口述試問では、願書と一緒に提出された研究計画書を参考資料として、主に研究計画についての試問を行う。したがって研究計画書には、(1)音楽文芸を志望した理由、これまでの研究・活動歴、現段階で興味を持っているテーマについて、(2)修士課程在籍中の2年間における研究計画、修士論文について現時点で想定し得るテーマ・素材を、各々800字以内で具体的に書いておくこと。</p>
	音楽音響創造	<p>1. 聴聴試験 (1) 音楽を聴いて、編成や楽譜との相違などを解答する。 (2) 2種類の音を聴いて、音の大きさや音色の違いなど音響的な特徴について解答する。 (3) 音楽を聴いて感じたことを、設問にそって自由に記述する。</p> <p>2. 記述試験 (1) 音楽に関する記述問題(楽典、楽器、人物などについての設問) (2) 音響に関する記述問題(用語、音響学の基本事項についての設問)</p> <p>※試験時間は、「聴聴試験」、「記述試験」合わせて3時間とする。</p> <p>3. 口述試問 主に、提出された「研究計画書」、「作品あるいは論考」に即した試問を行う。質疑応答を含め1人20分程度で実施する。</p> <p>※ 受験者全員願書提出時に(A)「研究計画書」及び(B)「作品あるいは論考」を提出すること。なお、「研究計画書」は、願書と同封の上提出すること。また「作品あるいは論考」は、願書とは別の封筒を使用し、速達書留郵便により提出すること。送り先は「本学音楽学部教務係」とし、封筒表に「音楽音響創造入試『作品(または論考)』在中」と大きく明記すること。提出は、出願期間内に行うものとし、同期間内の消印のあるものを受理する。</p> <p>(A) 「研究計画書」について 本学所定の様式を使用し、入学後の研究計画を1200～1600字で具体的に記述すること。</p> <p>(B) 「作品あるいは論考」について 下記(1), (2), (3)のいずれかを提出すること。(返却しない)</p> <p>(1) 音楽作品の創作技法を評価の対象として希望する場合 自作品2～3点(*)とそれぞれの解説。自作品として提出できるのは、録音物、楽譜、あるいはその両方とする。解説は、1作品につきA4用紙4枚以内、公開された作品の場合は、公開の年月日、場所、演奏者や機材のシステムなどのデータを記入すること。</p> <p>(2) 録音技術を評価の対象として希望する場合 既存の曲(オリジナル作品も可)を自ら録音した作品(5～10分程度)1～2点(*)と、それについての解説。(1作品につきA4用紙4枚以内、録音、ミキシングに関する詳しいデータを記入すること)。</p> <p>(3) 音楽や音響の研究を評価の対象として希望する場合 音楽・音響に関する日本語による論考(本文4000字程度、形式は自由)</p> <p>(*) 音のみの作品の場合はCD-R, DVD-R, Blu-rayで、映像をとる場合はDVD-R, Blu-rayで提出する。また、再生にあたって特別な注意を要するときには、それについても解説に記入すること。作品(メディア)と楽譜または解説は、各作品ごとに氏名と題名を書いた封筒に入れること。</p>

● 「応用音楽学研究分野」及び「芸術環境創造研究分野」の募集停止について

平成28年度より、従来の大学院音楽研究科（修士課程）音楽文化学専攻「応用音楽学研究分野」及び大学院音楽研究科（修士課程）音楽文化学専攻「芸術環境創造研究分野」は、「大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻（修士課程）」に改組するため、平成28年度入学試験において、両研究分野の募集は行わない。

新設する「大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻（修士課程）」に係る入学試験の出願にあたっては、平成27年9月上旬配布予定の当該入学試験に係る学生募集要項等を確認すること。

※この計画は、文部科学省大学設置・学校法人審議会によって確定するものであり、変更があり得る。

※詳細は本学生募集要項2ページを参照すること。

2. 語学

専攻	研究分野	試験内容
作曲 楽器指	全研究分野	英・独・仏・伊語の中から1科目選択……大学学部卒業程度 ※辞書使用可（電子機器の物は除く） 試験時間：1時間30分
邦楽	全研究分野	国語古文1科目……大学学部卒業程度 ※辞書使用不可 試験時間：1時間30分
音楽 文化 学	音楽学	英・独・仏・伊・露・西語の中から2科目選択……大学学部卒業程度 ただし、「日本・東洋音楽史」ならびに「音楽民族学」志願者は、うち1科目のみ選択し受験する。 ※辞書使用不可 試験時間：3時間（1時間30分×2科目）。ただし1科目の場合1時間30分。
	音楽教育 ソルフェージュ	<ul style="list-style-type: none"> 「楽器等の実技試験」（邦楽以外）の選択者 英・独・仏・伊語から1科目（大学学部卒業程度）を受験する。 ※辞書使用可（電子機器の物は除く）。 試験時間：1時間30分 「楽器等の実技試験」（邦楽）の選択者 国語古文1科目（大学学部卒業程度）を受験する。 ※辞書使用不可。 試験時間：1時間30分 「音楽学の筆記試験」の選択者 音楽学研究分野において課されている語学試験を受験する。 ※辞書使用不可。 試験時間：3時間（1時間30分×2科目）。ただし、1科目の場合1時間30分。
	音楽文芸	英・独・仏・伊・露・西語・国語古文から2科目…大学学部卒業程度 ※辞書使用不可 試験時間：3時間（1時間30分×2科目）
	音楽音響創造	英・独・仏・伊・露・西語・国語古文から1科目…大学学部卒業程度 ※辞書使用可（電子機器の物は除く） 試験時間：1時間30分

3. 基礎学科目（音楽史）

専攻・研究 分野	試験内容
全研究分野 (作曲専攻を 除く)	<p>音楽史について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 声楽を中心とする音楽史（西洋音楽史） 2. 鍵盤楽器を中心とする音楽史（西洋音楽史） 3. 弦楽・管打楽器を中心とする音楽史（西洋音楽史） 4. 日本を含む東洋音楽史 <p>出願時、上記4系列から1系列を選択する。各系列においてそれぞれ3問題ずつ出題するので、受験者は、その中から任意に2問題を選択し解答する。 ただし、音楽文化学専攻志願者は、出願時、上記4系列から1系列を選択する必要はなく、出題される全12問題の中から系列を問わず任意に2問題を選択し解答する。 出題程度は、専門の音楽大学における各科またはコース別音楽史概説の程度を超えないものとする。試験時間：2時間</p>
作曲専攻	<p>音楽史（西洋音楽史、日本を含む東洋音楽史）に関して計6問題を出題するので、志願者は、その中から任意に2問題を選択し解答する。 出願時に系列を選択する必要はない。 出題程度は、専門の音楽大学における各科またはコース別音楽史概説の程度を超えないものとする。試験時間：2時間</p>

4. 面接

専攻・研究分野	受験対象者
古楽	受験者全員
オルガン・管打楽・指揮・邦楽専攻	(1)他大学出身者 (2)本学出身者のうち、学部の専攻と受験する修士課程の専攻が異なる者
作曲専攻・声楽専攻・ピアノ・弦楽・室内楽・音楽学・音楽教育・ソルフェージュ・音楽文芸・音楽音響創造	面接を行わない。

5. 音楽に関する基礎能力検査

①「基礎能力検査」受験対象者及び試験内容

他大学出身者（本学出身者を除く）のうち以下に指定する研究分野等の受験者には、以下の通り「基礎能力検査」を課する。

受験対象者		基礎能力検査科目及び試験内容
研究分野	楽器名等	
作曲 声楽 ピアノ オルガン 弦楽 管打楽 室内楽 古楽 指揮		実施しない
三味線 音楽	長唄三味線	「長唄」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「老松」（四代目杵屋六三郎作曲）
	常磐津三味線	「常磐津」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「将門」（宝田寿助作詞，五世岸沢式佐作曲）
	清元三味線	「清元」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「北州」（大田蜀山人作詞，川口直作曲）
	長唄	「長唄三味線」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「老松」（四代目杵屋六三郎作曲）
	常磐津	「常磐津三味線」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「将門」（宝田寿助作詞，五世岸沢式佐作曲）
	清元	「清元三味線」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「北州」（大田蜀山人作詞，川口直作曲）
箏曲	山田流	「口述試問」（志望理由及び山田流箏曲の専門知識についての審査）
	生田流	「箏曲音楽理論」 （楽器〈箏・十七絃・三絃〉及びそれらの取扱い，調絃，楽譜，演奏法，唱歌，歌唱法など歴史を除く生田流箏曲全般にわたるものの中から出題される。）
尺八		「箏」または「三絃」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） （自由曲とする。） *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し，出願時に提出しなければならない。
能楽	楽	「能楽囃子」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） （四拍子より1楽器を演奏する。自由曲とする。） *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し，出願時に提出しなければならない。
能楽	囃子	専攻以外の四拍子より1楽器・謡曲を演奏する。（専攻実技試験に引き続き行う。） （自由曲とする。） *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し，出願時に提出しなければならない。

(次ページに続く)

受験対象者		基礎能力検査科目及び試験内容
研究分野	楽器名等	
邦楽	囃子	専攻以外の四拍子より1楽器を演奏する。(専攻実技試験に引き続き行う。) (自由曲とする。) *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し、出願時に提出しなければならない。
日本舞踊		次の中から1つを選択し受験すること。 1. 長唄三味線：「五郎時致」(十代目杵屋六左衛門作曲) 2. 常磐津三味線：「松島」(河竹黙阿弥作詞，六代目岸沢式佐作曲) 3. 清元三味線：「四君子」(鎌田徳之助作詞，二世清元梅吉作曲) 4. 長唄：「五郎時致」(十代目杵屋六左衛門作曲) 5. 常磐津：「松島」(河竹黙阿弥作詞，六代目岸沢式佐作曲) 6. 清元：「四君子」(鎌田徳之助作詞，二世清元梅吉作曲) 7. 邦楽囃子(四拍子より1楽器を選択)：「五郎時致」(十代目杵屋六左衛門作曲) *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し、出願時に提出しなければならない。
音楽学	音楽美学 西洋音楽史	ピアノ，聴音，初見唱，楽典
	音楽民族学 日本・東洋音楽史	実施しない
音楽教育	「楽器等の実技試験または音楽学の筆記試験」において「邦楽」を選択しなかった者	ピアノ(ピアノ受験者を除く)，聴音，初見唱，楽典(作曲専攻除く)
	「楽器等の実技試験または音楽学の筆記試験」において「邦楽」を選択した者	本表，三味線音楽，箏曲，尺八，能楽，能楽囃子，邦楽囃子および日本舞踊各研究分野の項記載の通り実施する。
ソルフェージュ	「楽器等の実技試験または音楽学の筆記試験」において「邦楽」を選択しなかった者	実施しない
	「楽器等の実技試験または音楽学の筆記試験」において「邦楽」を選択した者	本表，三味線音楽，箏曲，尺八，能楽，能楽囃子，邦楽囃子および日本舞踊各研究分野の項記載の通り実施する。
音楽文芸		実施しない
音楽音響創造		実施しない

- 「平成28年度東京藝術大学大学院音楽研究科(修士課程)入学者選抜試験課題曲及び試験内容(専門試験・音楽に関する基礎能力検査)」【平成27年6月4日(休)より配布している冊子】の一部訂正について

この冊子P20の記載に一部誤りがありましたので、以下のとおり訂正します。

P.20(2) 音楽に関する基礎能力検査 ①「基礎能力検査」受験対象者及び試験内容
三味線音楽 清元三味線・清元

(誤) 課題曲：「北州」(大田蜀山作詞，川口直作曲)



(正) 課題曲：「北州」(大田蜀山人作詞，川口直作曲)

② 基礎能力検査科目「ピアノ・聴音・初見唱・楽典」の試験内容

基礎能力検査科目	試 験 内 容
ピ ア ノ	ハイドン，またはモーツァルトのソナタより1曲を選択し，任意の楽章を演奏する。 (注) 1) 繰り返しは除く。 2) 楽譜を見ても良い。 3) 当日，時間の都合により一部を省略させることがある。 4) 本学所定の受験曲目提出用紙を提出すること。
聴 音	32ページ例題の程度
初 見 唱	32ページ例題の程度
楽 典	試験時間1時間

基礎能力検査（聴音・初見唱）

例題

●聴音書き取り

1) 単旋律

2) 複旋律

3) 四声体和声

●初見唱

Moderato (♩=84)

IX 選 抜 期 日

1. 第1期選抜試験（対象：作曲専攻を除くすべての受験者）
平成27年9月15日（火）～9月25日（金）
2. 第2期選抜試験（対象：作曲専攻受験者）
平成28年2月2日（火）～2月9日（火）

（注）各専攻の選抜試験期日は「XVI入学者選抜試験実施日程表」（折込）に記載されている。

X 最終合格者の発表

1. 第1期選抜試験（対象：作曲専攻を除く全ての受験者）
…平成27年9月29日（火）午後4時以降音楽学部内に掲示及び本学ホームページで発表する。
2. 第2期選抜試験（対象：作曲専攻）
…平成28年2月19日（金）午後2時以降音楽学部内に掲示及び本学ホームページで発表する。

本学ホームページでも合格者の受験番号を掲載する。（中間発表においては、掲示された日程等も併せて掲載する。）

入学者選抜試験実施日程表に示してある中間及び最終合格者発表の日時のそれぞれ1時間後に掲載する予定である。（中間発表：各発表日午後5時頃、最終発表：作曲専攻…平成28年2月19日（金）午後3時頃 作曲を除くすべての専攻…平成27年9月29日（火）午後5時頃）

発表前後はアクセスが集中し、つながりにくい場合がある。その際は、時間をおいて再度アクセスすること。

- （注）
1. 電話・電子メール等による合否等の問い合わせには、一切応じない。
 2. 最終合格者には、平成28年2月22日（月）（予定）に入学手続き書類を送付するので、出願時に「入学手続き書類送付宛名ラベルシール」を願書と一緒に必ず提出すること。
※宛名は日本国内に限るため、海外在住者は日本国内の代理人を指定すること。
※最終合格したにもかかわらず入学手続き書類が平成28年2月26日（金）までに到着しない場合には、音楽学部教務係に連絡すること。
 3. 入学の条件
 - ① 指定期日に所定の入学手続きを完了すること。
 - ② 平成28年3月大学卒業見込で受験し最終合格した者は、大学を卒業していること。
 - ③ 独立行政法人大学評価・学位授与機構に学士の学位を申請している者は、学位が授与されていること。

XI 入学手続き等について

1. 手続き期間
持参受付：平成28年3月14日（月）及び15日（火）
午前10時から12時、午後2時から5時（14日は午後4時まで）
郵送受付：平成28年3月9日（水）必着
2. 手続き場所
東京藝術大学音楽学部 東京都台東区上野公園12-8
3. 納入金
入 学 料 338,400円（予定額）（国費外国人留学生は納入不要）
入学手続き終了者が平成28年3月31日（木）までに入学辞退を申し出た場合でも、入学金は返還しない。

* 参考までに、入学者には上記納入金以外に次のような経費が必要となる。

- ・ 学生教育研究災害傷害保険料 1,750円
- ・ 同窓会会費（同窓会費） 60,000円（他大学出身者及び本学出身の未納者）
- ・ 音楽教育振興会費 30,000円

（音楽教育振興会：音楽学部の教育研究、学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会）

※授業料について

授業料（前期分） 267,900円（年額535,800円）〔予定額〕（国費外国人留学生は納入不要）

- （注）
1. 平成28年4月中旬に保証人宛に郵送される振込依頼書により、平成28年4月末日までに納入すること。
 2. 前期分または年額（前期および後期分）のいずれかにより納入できる。
 3. 在学中に授業料改定が行われた場合、改定時から新授業料が適用される。

XII 入学料・授業料の免除・徴収猶予について

本学には、入学料・授業料の免除・徴収猶予制度があるので、希望する者は、入学料・授業料の納入前に、下記の申請要件を確認のうえ、所要の手続きを行うこと。

(納入後の各種申請は出来ないので注意すること。なお、入学料免除については申請要件を満たしても免除されるとは限らないこと、及び授業料免除についても申請しても不許可となる場合があることから、入学料・授業料納入の準備は事前に十分に行っておくこと。)

免除・猶予の申請要件は次のとおりである。

1. 入学料免除

- (1) 経済的理由により入学料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- (2) 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合
- (3) (1)に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

2. 入学料徴収猶予

- (1) 経済的理由により入学料の納付期限までに入学料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- (2) 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付期限までに納付が困難であると認められる場合
- (3) その他やむを得ない事情があると認められる場合

3. 授業料免除

- (1) 経済的理由により授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- (2) 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる場合

4. 授業料徴収猶予

- (1) 経済的理由により授業料の納付期限までに納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合

なお、上記申請要件に不明の点がある場合は、本学学生課奨学係 (TEL 050-5525-2069) に照会すること。

XIII 奨学金、特待生について

本学では、入学試験、在学中の実技試験等において特に優れた成績を納めた者に対し、各種の奨学金、特待生制度を設けてこれを表彰し、才能に溢れた意欲ある学生を積極的に支援している。これらは返済不要の給付型奨学金である。制度の詳細については本学ホームページで確認すること。

1. 入学試験成績により採用されるもの

宗次徳二特待奨学生 [対象：声楽/初年度給付額：100万円/給付期間：最長2年間]

※宗次徳二特待奨学生を希望する志願者は、入学願書の所定欄にその旨記入すること。

2. 在学時の学業成績等により採用されるもの

クロイツァー賞 [対象：ピアノ/給付額10万円] 中能島賞 [対象：邦楽/給付額5万円]

藝大クラヴィア大賞 [対象：ピアノ/給付額20万円]

武藤舞奨学金 [対象：声楽・音楽音響創造・芸術環境創造/給付額30万円] 他

3. その他の支援制度

上記以外にも、野村学芸財団、よんでん文化振興財団などの民間奨学財団、地方公共団体へ大学から推薦した学生が、毎年、奨学生として採用されている。

XIV 研究室及び指導教員 (五十音順)

平成 27 年 7 月現在

研 究 室	指 導 教 員		研 究 室	指 導 教 員	
作 曲 第 1	教 授	小鍛冶 邦 隆	ピ ア ノ 第 5	准 教 授	有 森 博
	教 授	野 平 一 郎		准 教 授	江 口 玲
	教 授	安良岡 章 夫	オ ル ガ ン	准 教 授	廣 江 理 枝
	准 教 授	鈴 木 純 明	弦 楽 第 1 (ヴァイオリン)	教 授	清 水 高 師
	准 教 授	林 達 也		准 教 授	漆 原 朝 子
作 曲 第 2	教 授	小鍛冶 邦 隆	弦 楽 第 2 (ヴァイオリン)	准 教 授	玉 井 菜 採
	准 教 授	林 達 也		教 授	澤 和 樹
声 楽 第 1 (独 唱)	教 授	川 上 茂	弦 楽 第 3 (ヴィオラ)	教 授 (兼)	松 原 勝 也
	教 授 (兼)	勝 部 太		准 教 授 (兼)	野 口 千 代 光
	教 授 (兼)	菅 英 三 子	弦 楽 第 4 (チェロ) 〔コントラバス〕 (ハープ)	教 授	川 崎 和 憲
教 授	平 松 英 子	准 教 授 (兼)		市 坪 俊 彦	
声 楽 第 2 (独 唱)	准 教 授	甲 斐 栄 次 郎	管 楽 第 1 (木 管 楽 器)	教 授	河 野 文 昭
	教 授 (兼)	福 島 明 也		准 教 授	中 木 健 二
声 楽 第 3 (独 唱)	教 授	佐々木 典 子	管 楽 第 2 (金 管 楽 器)	准 教 授	池 松 宏
	教 授	寺 谷 千 枝 子 ※		准 教 授	吉 田 秀
声 楽 第 4 (独 唱)	教 授	吉 田 浩 之	打 楽 器	教 授	小 畑 善 昭
	准 教 授	櫻 田 亮		教 授	山 本 正 治
	教 授 (兼)	永 井 和 子	准 教 授	高 木 綾 子	
声 楽 第 5 (オ ペ ラ)	教 授	勝 部 太	室 内 楽	准 教 授	古 賀 慎 治
	教 授	菅 英 三 子		准 教 授	栃 本 浩 規
	教 授	永 井 和 子		准 教 授 (兼)	日 高 剛
	教 授 (兼)	川 上 茂	古 楽	准 教 授	藤 本 隆 文
	教 授 (兼)	佐々木 典 子		教 授	松 原 勝 也
	教 授 (兼)	寺 谷 千 枝 子 ※	指 揮	准 教 授	市 坪 俊 彦
	教 授 (兼)	平 松 英 子		准 教 授	日 高 剛
	教 授 (兼)	福 島 明 也	邦 楽 第 1 (三味線音楽)	教 授	野々下 由香里
	教 授 (兼)	吉 田 浩 之		准 教 授	大 塚 直 哉
	准 教 授 (兼)	櫻 田 亮	邦 楽 第 2 (箏 曲) (尺 八)	教 授	高 関 健
准 教 授 (兼)	甲 斐 栄 次 郎	教 授 (兼)		迫 昭 嘉	
ピ ア ノ 第 1	教 授	植 田 克 己	邦 楽 第 3 (能 楽 囃 子)	准 教 授	味 見 純
	准 教 授	青 柳 晋		准 教 授	小 島 直 文
ピ ア ノ 第 2	教 授	伊 藤 惠	邦 楽 第 4 (邦 楽 舞 踊)	教 授	萩 岡 松 韻
	教 授	角 野 裕		准 教 授	吉 川 さ と み
ピ ア ノ 第 3	准 教 授	東 誠 三	邦 楽 第 1 (日本舞踊)	教 授	関 根 知 孝
	准 教 授	坂 井 千 春		教 授	武 田 孝 史
ピ ア ノ 第 4	教 授	迫 昭 嘉		准 教 授	露 木 雅 弥
	教 授	渡 邊 健 二		准 教 授	盧 慶 順

研 究 室	指 導 教 員		研 究 室	指 導 教 員	
音楽学 第 1 (体系的音楽学)	准教授	福中冬子	応用音楽学	教授	枝川明敬
	教授(兼)	植村幸生		教授	畑瞬一郎
音楽学 第 2 (西洋音楽史)	教授	大角欣矢		教授(兼)	佐野靖
	教授	片山千佳子※		教授(兼)	杉本和寛
	教授	土田英三郎	教授	杉本和寛	
音楽学 第 3 (日本・東洋音楽史)	教授	植村幸生	音楽文芸	教授	檜山哲彦
	教授	塚原康子		准教授	大森晋輔
音楽教育	教授	佐野靖		准教授	侘美真理
	教授	山下薫子		教授(兼)	畑瞬一郎
	教授(兼)	杉本和寛	音楽音響創造	教授	亀川徹
	教授(兼)	塚原康子		教授	西岡龍彦
	教授(兼)	照屋正樹		准教授	丸井淳史
ソルフェージュ	教授	照屋正樹	芸術環境創造	教授	熊倉純子
	准教授	テシュネ, ローラン		准教授	市村作知雄
	教授(兼)	佐野靖		准教授	毛利嘉孝

- (注)1. 音楽学研究分野の合格者は、最終合格者発表後に配付される「指導教員希望用紙」を指定された日までに提出すること。
2. 音楽学研究分野を除く合格者は、最終合格者発表後に配付される「実技担任教員・指導教員希望用紙」を指定された日までに提出すること。
3. 入学後、大学側の事情により所属研究室・指導教員が変更された場合には、その変更に従うこと。
4. 氏名欄に※印のある教員は、平成28年3月31日に定年退職する。

XV 個人情報の取り扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）により、本学が入学選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学選抜に係わる業務のほか、次のとおりとする。

1. 利用目的について

- (1) 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用する。
- (2) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用する。
- (3) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用する。
- (4) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用する。
- (5) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学選抜に関する調査研究で利用する。

2. 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはない。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがある。

- (1) 上記1.(1)～(5)の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合
- (2) 本人の利益となる次の学外関係者に情報提供する場合
 - ①音楽教育振興会（音楽学部の教育研究，学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会）
 - ②杜の会（美術学部同窓会）
 - ③同声会（音楽学部同窓会）
 - ④東京芸術大学生生活協同組合

- (注1) この日程は、出願状況によって変更することがあるので、志願者本人が、
表中の日程発表日時に来学または本学ホームページで確認すること。
(注2) 試験日をまちがえた場合は、受験資格を失うので十分注意すること。
(注3) 合格者発表は受験番号で行うので、発表日には受験票を必ず持参すること。
(注4) 日程等掲示を確認する際は、日程等発表日の20時までに来学すること。

XVI 平成28年度 大学院音楽研究科(修士課程)入学者選抜試験実施日程表

○記載例
9：30～…試験開始時刻(集合時間は別途発表)

専攻等 日程	作曲	声楽	器楽							指揮	邦楽	音楽文化学					志願者 集合場所	
			ピアノ	オルガン	弦楽	管楽	打楽	室内楽	古楽			音楽学	音楽教育	ソルフェージュ	音楽文芸	音楽音響創造		
平成27年 9月14日(月)	入学試験実施について日程(集合時刻, 試験時刻等)及び注意事項を16時以降に学内掲示及び本学ホームページで発表する。(必ず志願者自身が見て確認すること。) ※作曲(主専攻)志願者の日程は平成28年2月1日(月)16時以降に学内掲示板及び本学ホームページで発表する。																	
15日(火)		専攻実技 第1回 10:00～		試奏日 (レジスター・タイム)				専攻実技 11:00～	専攻実技 10:00～	BOrg 試奏日 (レジスター・タイム)	専攻実技 10:00～				楽器等の実技試験 (打楽)			
16日(水)		専攻実技 第1回 10:00～		試奏日 (レジスター・タイム)			専攻実技 10:00～			BOrg 試奏日 (レジスター・タイム)		尺八専攻実技 9:30～ 三味線音楽・邦楽囃子 専攻実技 10:00～ 箏曲山田流専攻実技 11:00～ 日本舞踊専攻実技 11:00～ 箏曲生田流専攻実技 13:00～ 音楽に関する基礎能力検査			楽器等の実技試験 (声楽・管楽・邦楽)			
17日(木)		第1次合格者発表 日程等掲示 16時以降	専攻実技 10:00～	専攻実技 10:00～			専攻実技 10:00～			BOrg 専攻実技 10:00～					楽器等の実技試験 (ピアノ・オルガン・ 管楽・古楽 (BOrg))			
18日(金)	音楽教育, ソルフェージュの 作品審査・ 口述試問 14:00～	専攻実技 第2回 10:00～	専攻実技 10:00～			専攻実技 9:30～				専攻実技 (BOrg 通奏) (低音含む) 10:00～		能楽・能楽囃子専攻実技 14:00～ 音楽に関する基礎能力検査 箏曲専攻実技(予備日) 10:00～			楽器等の実技試験 (作曲・ピアノ・弦楽・古楽・邦楽)			
19日(土)		専攻実技 第2回 10:00～	専攻実技 10:00～			専攻実技 9:30～									楽器等の実技試験 (ピアノ・弦楽)			
20日(日)														音楽学 10:00～12:00 専攻論文 13:00～15:00	音楽学の 筆記試験 10:00～12:00	音楽学の 筆記試験 10:00～12:00 記述試験 13:00～14:30		試聴試験 記述試験 13:00～16:00
21日(月祝)																		
22日(火祝)		第2次合格者発表 日程等掲示 16時以降	第1次合格者発表・日程等掲示 16時以降									日程等掲示(合格者発表なし) 16時以降						
23日(水祝)																		
24日(木)														音楽に関する基礎能力検査 (他大学出身者のうち指定された 志願者) 9:30～		専攻論文10:00～12:00 小論文13:00～15:00		口述試問 10:00～
25日(金)														口述試問 10:00～	小論文 口述試問 9:30～	ソルフェージュ試験 口述試問 9:30～	口述試問 14:00～	口述試問 10:00～
29日(火)			最終合格者発表 16時以降															

平成28年 2月1日(月)	日程等掲示 16時以降																		
2日(火)	4声フーガ作曲 (エクリチュール) 12:00～18:00																		
3日(水)	音楽史 10:00 語学 13:00																		
9日(火)	作品審査 和声付け, 総譜初見視 奏(エクリチュール) 口述試問																		
19日(金)	最終合格者発表 14時以降																		

5
1
0
9
(大講義室)

5
1
0
9
(大講義室)

東京藝術大学大学院音楽研究科（修士課程）

学 生 募 集 要 項

平 成 27 年 7 月 発 行

東 京 藝 術 大 学